



研究所×酒造×陶芸家
古代酒を復元!!

試飲
※須恵器おちょこ
先着50名様

トークセッション
酒文化をつむぐ奈良
ー現代に蘇る古代酒の魅力ー

油長酒造 代表取締役 山本長兵衛
陶芸家 末廣学
奈良文化財研究所 研究員 庄田慎矢
奈良文化財研究所 研究員 神野恵

5/29(木)
15:00-15:30
EXPOアリーナ
Matsuri
小ステージ

 **Weaving the Future**
はじまりの地から、
未来をつむぐ。

独立行政法人 国立文化財機構
奈良文化財研究所

大阪・関西万博開催記念展示

酒と都と
SAKE CAPITAL

須恵器と
SUE WARE

土師器
HAJI WARE

2025
5.20(火) >>> 6.15(日)
平城宮跡資料館 企画展示室

9:00～16:30 (入館は16:00まで)
月曜休館 (祝日の場合は翌平日)



えんめん次
香いアと〜
香いアと〜
さるまるくん

平城宮跡の器キャラクター
キョウトぐみ【京都組】

©Expo 2025

奈良文化財研究所では、大阪・関西万博への出展と平城宮跡資料館で大阪・関西万博開催記念展示を行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

■大阪・関西万博 なら Weaving the Future

令和7年5月29日(木) 15:00～15:30「酒文化をつむぐ奈良ー現代によみがえる古代酒の魅力ー」トークセッション及び復元古代酒の試飲&須恵器おちょこプレゼント(先着50名様)

令和6(2024)年12月5日にユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」。その原点ともなる清酒発祥の地・奈良県の万博ブースに、奈良文化財研究所も出展します。研究所、酒造、陶芸家による古代酒の復元プロジェクトについてのトークセッションと復元した古代酒の試飲を実施します。試飲に使用した須恵器のおちょこはお持ち帰りいただけます。奈良時代の貴族が飲んでいたお酒に近い古代酒を飲むことができる、またとない機会です。

<トークセッション>

以下の4名による、古代酒復元プロジェクトの始まりや苦労、裏話などをお届けします！

油長酒造 代表取締役 山本長兵衛 氏

陶芸家 末廣学 氏

奈良文化財研究所 庄田慎矢 研究員

奈良文化財研究所 神野恵 研究員

■大阪・関西万博開催記念展示「酒と都と須恵器と土師器」

上記「なら Weaving the Future」に合わせて、平城宮跡資料館で記念展示を開催します。平城宮・京の発掘調査では、国の役所として「造酒司」がおかれ、長屋王など有力貴族の邸宅でも酒が醸されていたことがわかっています。平城宮ではどのような酒造りがおこなわれ、どのような器に入れて酒が運ばれ、どのような酒杯で酒を飲んでいたのか、奈良文化財研究所の研究成果を詰め込んだ、想像力をかきたてる展示となっております。

<見どころ>



古代の酒甕、酒壺、酒杯！

平城宮・京の発掘調査では、「酒」や「酒杯」と書かれた墨書土器が出土しています。奈良時代の貴族や役人が酒造りや飲酒に使った酒器について考えます。

造酒司の須恵器大甕

平城宮造酒司からはおびただしい数の須恵器大甕がみつかりました。その中には藤原京から運ばれた可能性を示す「五十戸」と書かれた篋描きをもつものが2点出土しました。多様な須恵器大甕から造酒司の酒造りに迫ります。



<ギャラリートーク>

5月29日（木）の大阪・関西万博会場でのトークセッションで、古代酒や須恵器に興味を持っていた方に向けて、平城宮跡資料館において研究員によるギャラリートークを実施します。（申込み不要、詳細はおってお知らせします）

第1回：6月1日（日）14：00～ 奈良文化財研究所 神野恵 研究員

第2回：6月8日（日）14：00～ 奈良文化財研究所 庄田慎矢 研究員

大阪・関西万博

なら Weaving the Future

酒文化をつむぐ奈良－現代によみがえる古代酒の魅力－

日 時：令和7（2025）年5月29日（木）15：00～15：30

会 場：大阪・関西万博 EXPO アリーナステージ Matsuri（小ステージ）

※万博会場への入場チケットが必要です。（このイベントへの参加は無料です）

大阪・関西万博開催記念展示

酒と都と須恵器と土師器

会 期：令和7（2025）年5月20日（火）～6月15日（日）

会 場：奈良文化財研究所平城宮跡資料館企画展示室

サテライト展示：遺構展示館

造酒司の井戸：遺構展示館そば・常時見学可

開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）

休 館 日：月曜日

入 館 料：無料

主 催：独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所

協 力：文化庁

